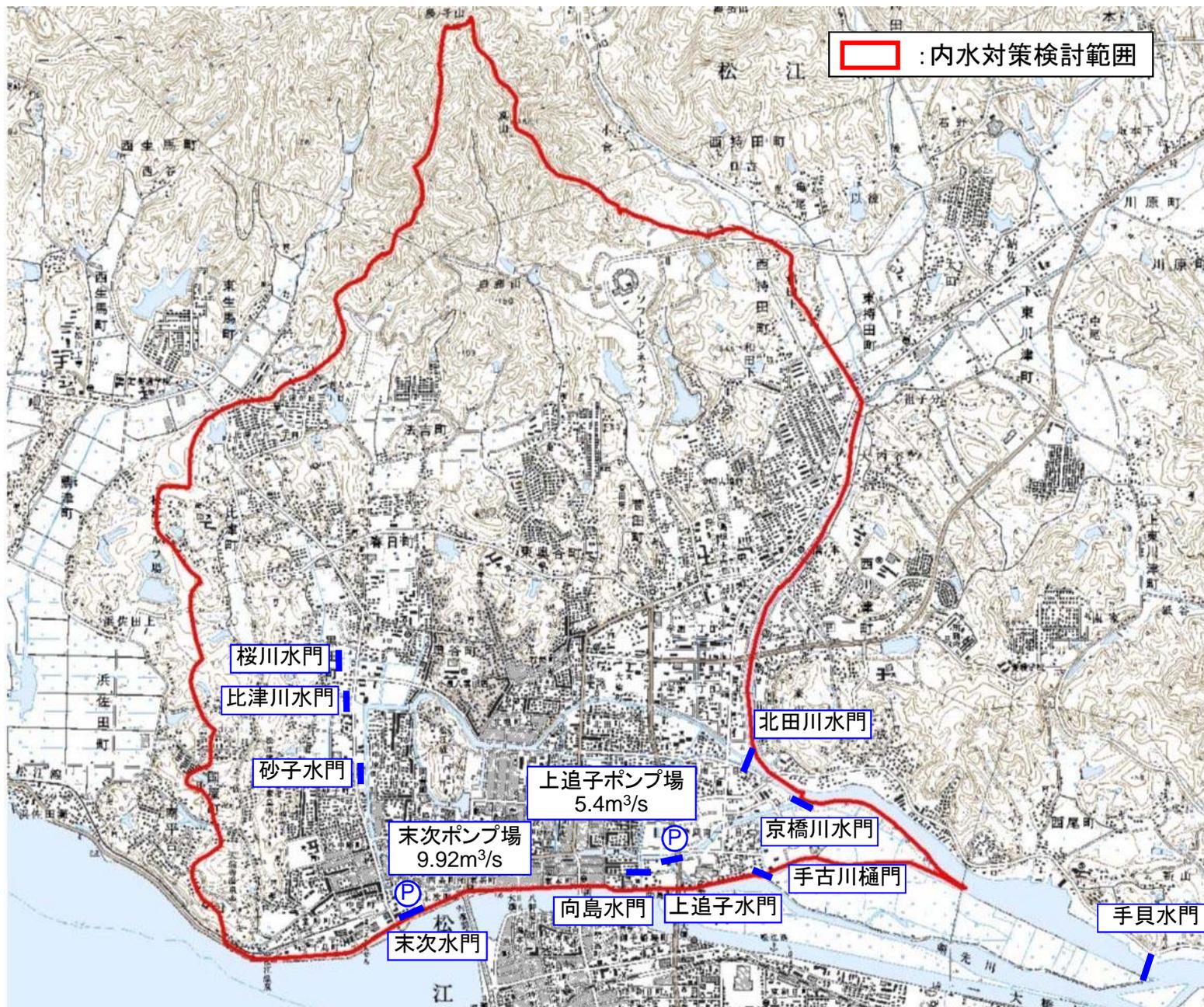


松江市街地内水対策（素案） 参考資料

1. 橋北地区 内水対策検討範囲
2. 橋北地区 内水対策前
3. 橋北地区 内水対策後
4. 橋南地区 内水対策検討範囲
5. 橋南地区 内水対策検討結果
6. 今後の予定
7. 検討会構成表

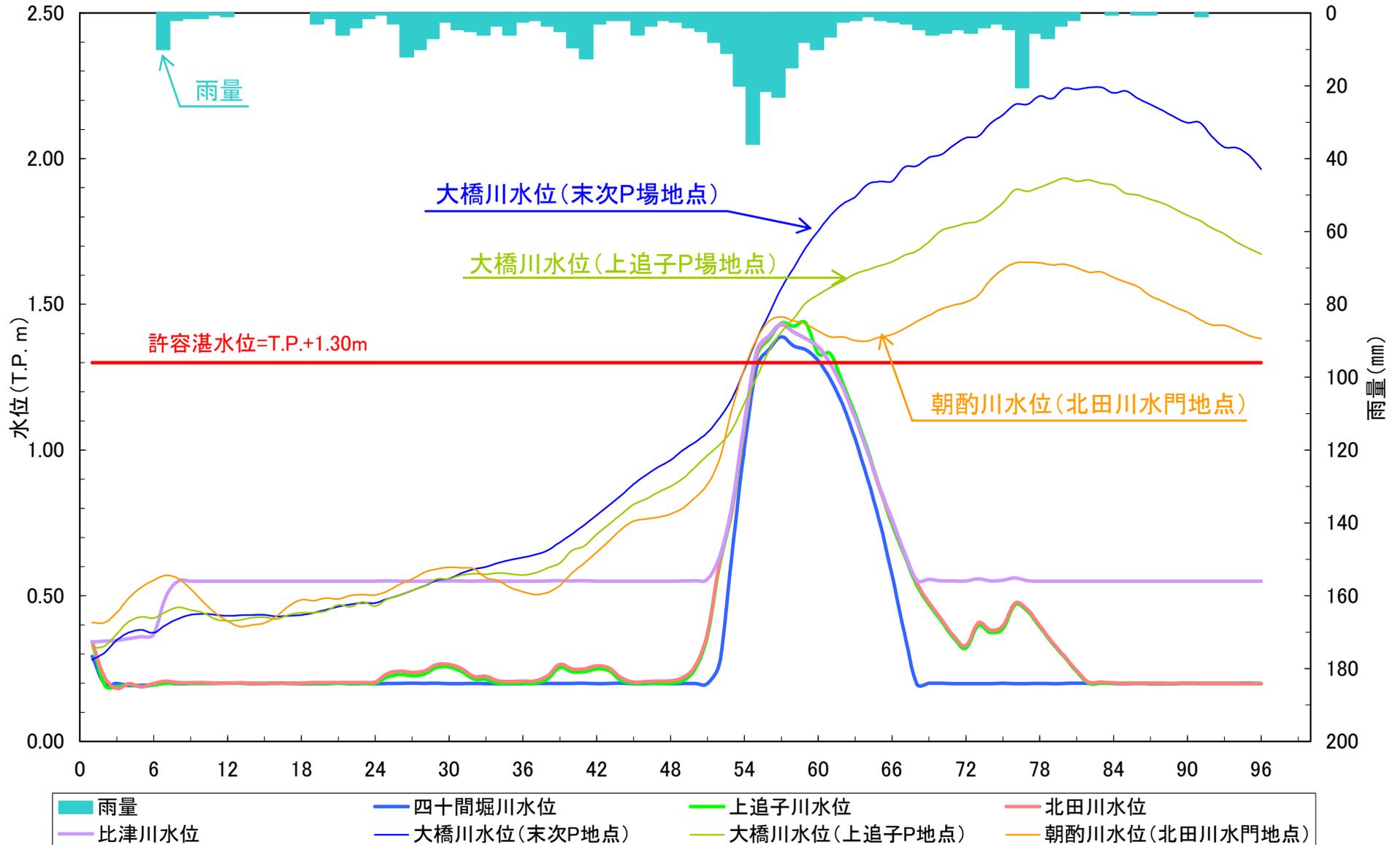
1. 橋北地区 内水対策検討範囲



2. 橋北地区 内水対策前

昭和47年7月豪雨

(ダム・放水路建設後、大橋川築堤護岸・水門整備後、朝酌川改修前)



⇒ 内水位が許容湛水位 (T.P.+1.30m) 以上となる

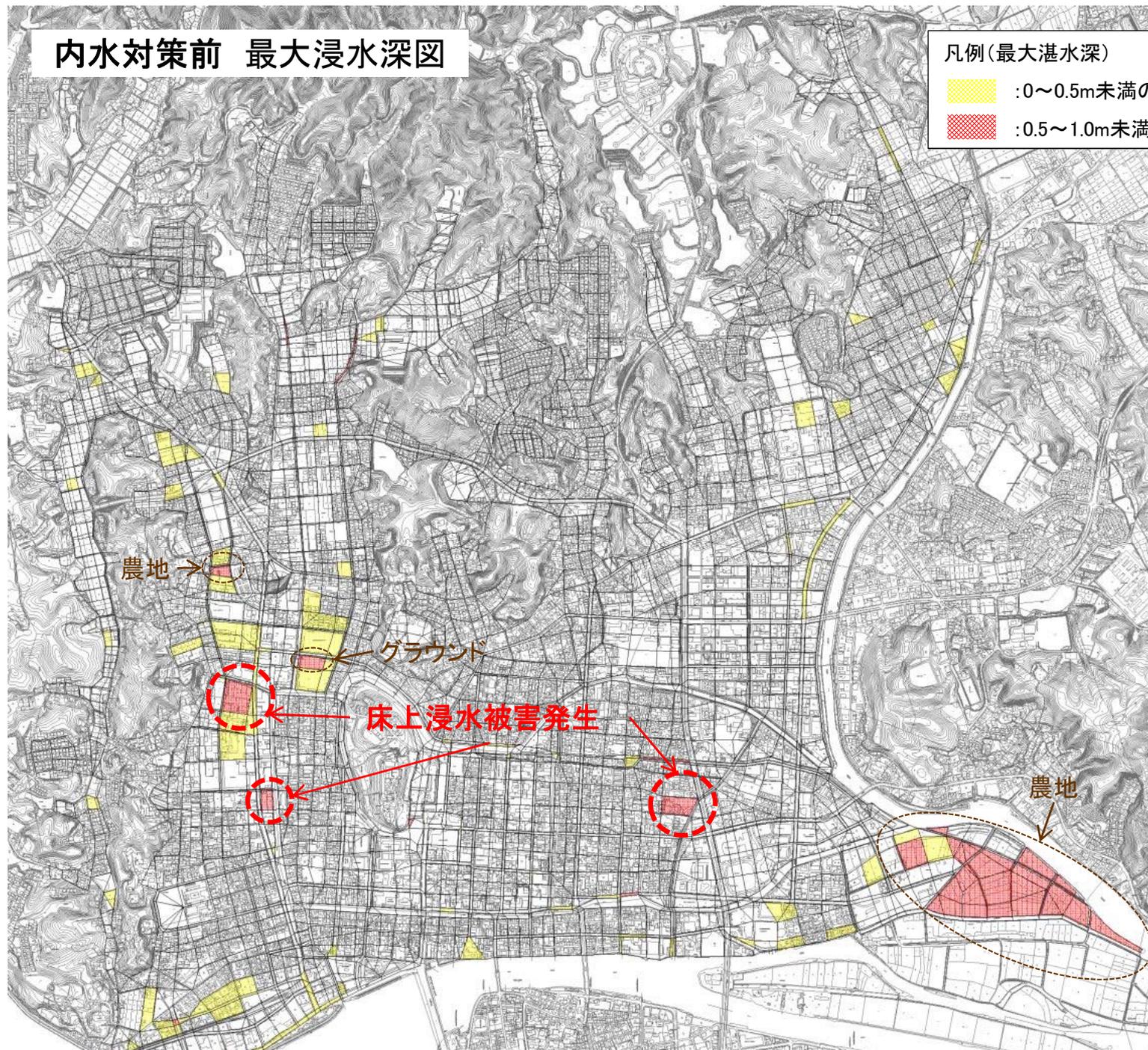
⇒ 床上浸水被害発生

内水対策前 最大浸水深図

凡例(最大湛水深)

 :0~0.5m未満の区域(床下浸水)

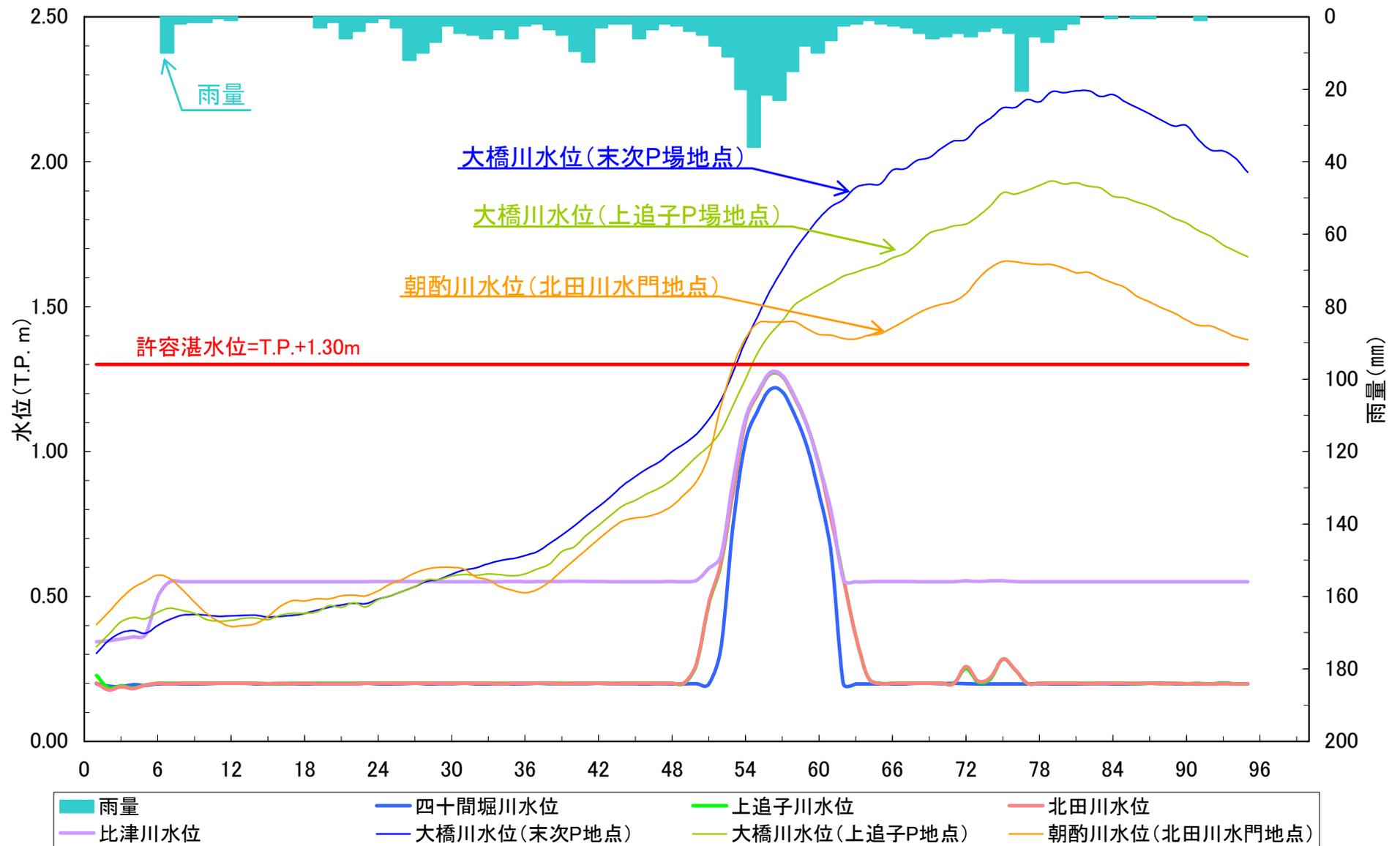
 :0.5~1.0m未満の区域(床上浸水)



3. 橋北地区 内水対策後 (既存ポンプ+5m³/s追加した場合)

昭和47年7月豪雨

(ダム・放水路建設後、大橋川築堤護岸・水門整備後、朝酌川改修前 **内水排除P5m³/s追加**)



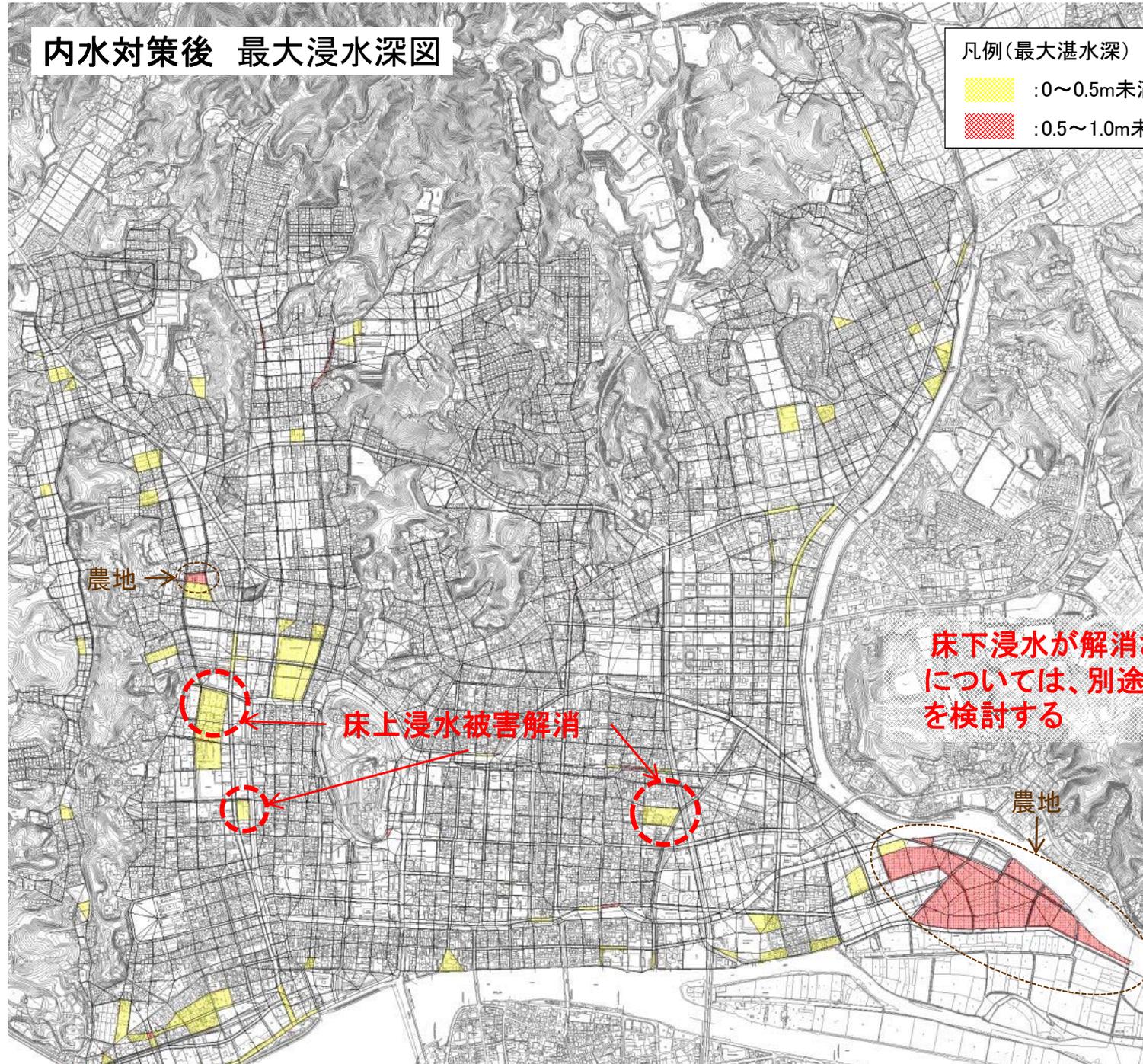
⇒ 内水位は許容湛水位(T.P.+1.30m)に達しない

⇒ 床上浸水被害解消

内水対策後 最大浸水深図

凡例(最大湛水深)

-  : 0~0.5m未満の区域(床下浸水)
-  : 0.5~1.0m未満の区域(床上浸水)



農地 →

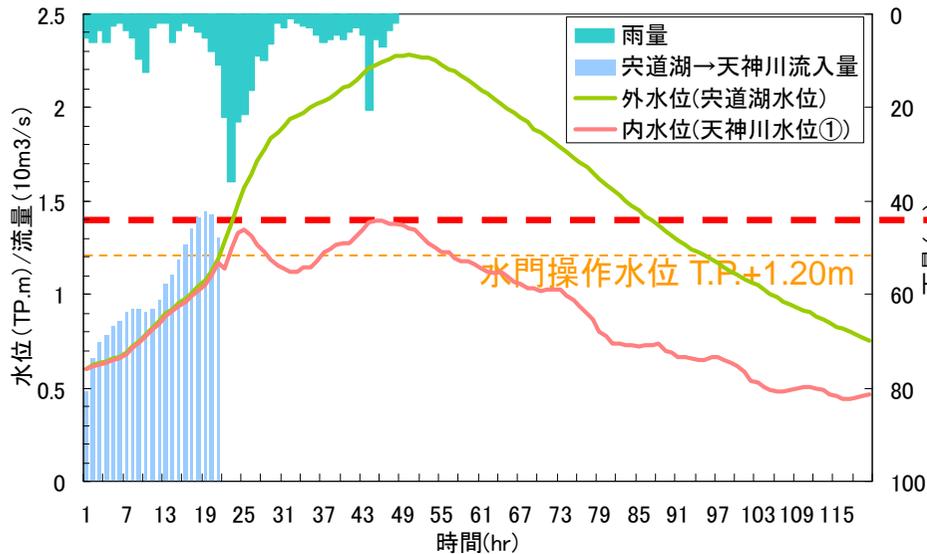
床上浸水被害解消

床下浸水が解消されない地区
については、別途2次内水対策
を検討する

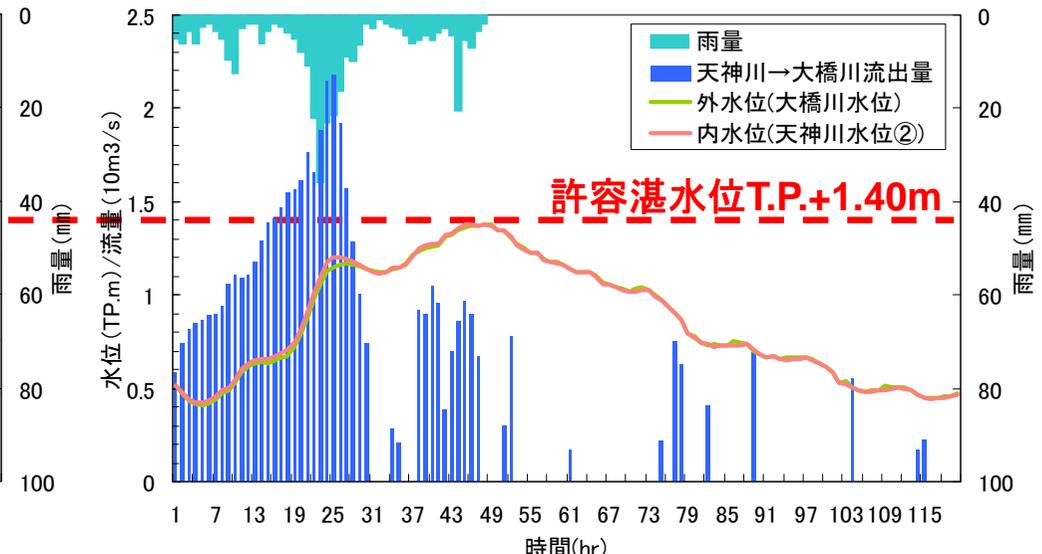
農地 ↓

5. 橋南地区 内水対策検討結果

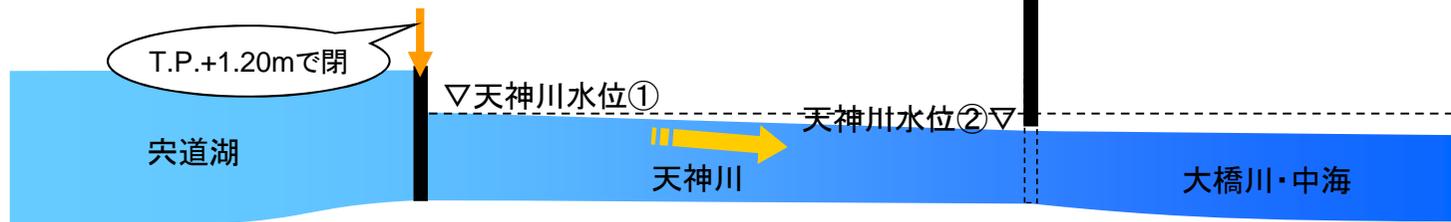
昭和47年7月豪雨(ダム・放水路完成後、大橋川築堤護岸・水門整備後)



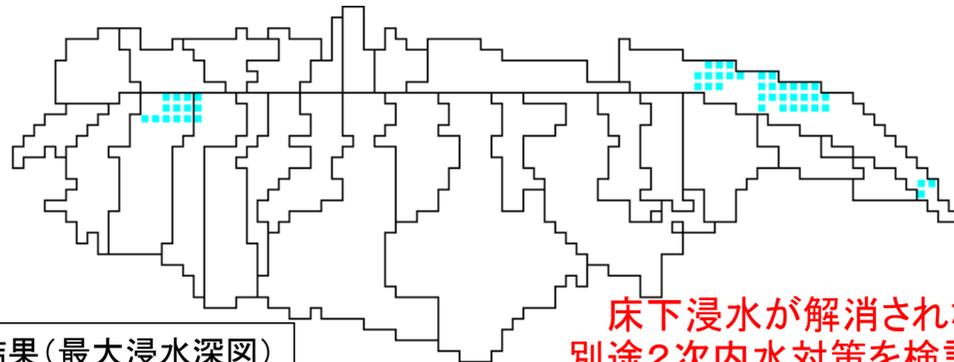
天神川呑口部(宍道湖側)



天神川吐口部(大橋川側)



⇒ 呑口部水門を閉め、外水の流入を防ぐことにより、内水位は許容湛水位(T.P.+1.40m)に達しない
 ⇒ 床上浸水 0戸

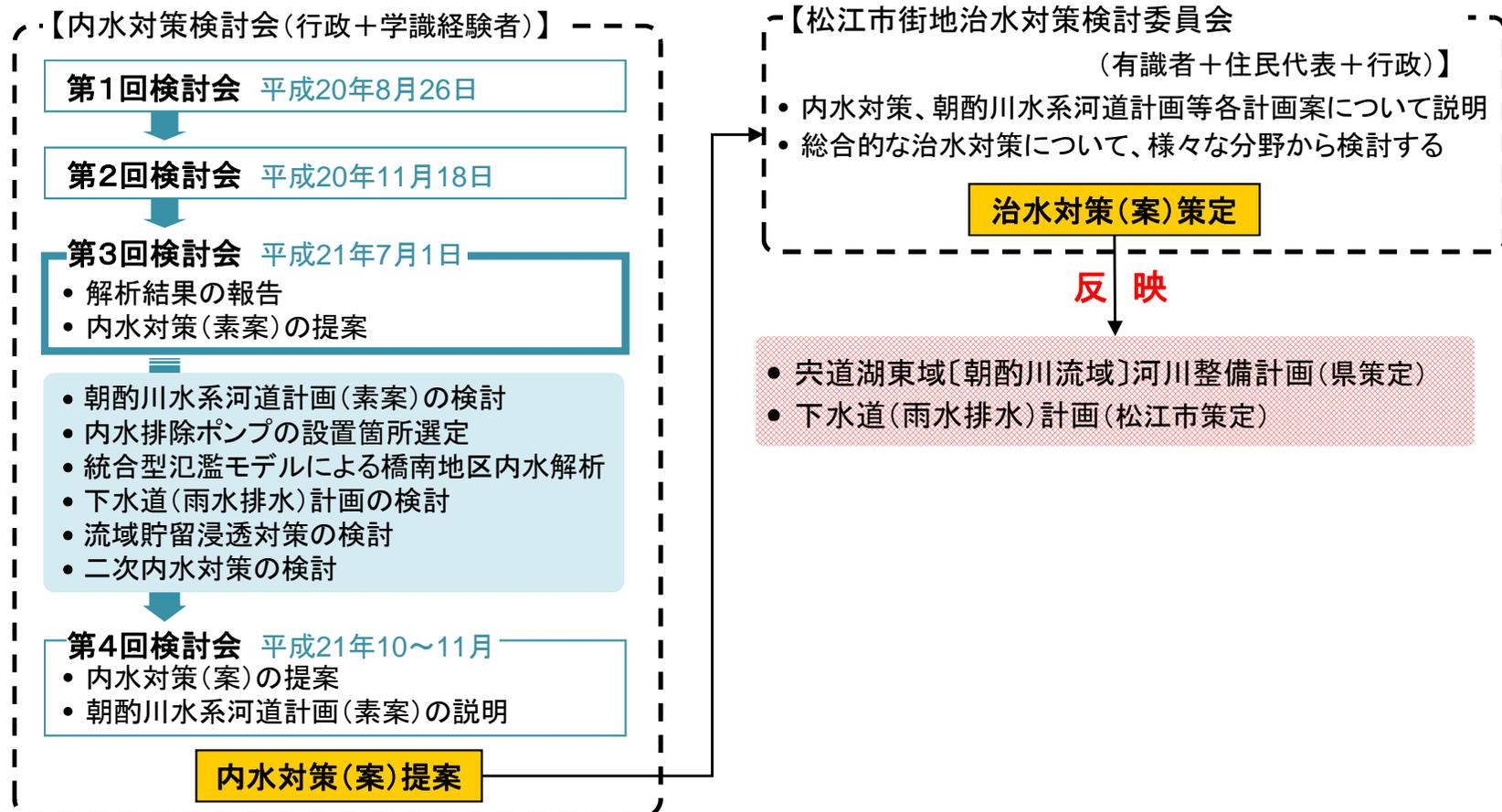


解析結果(最大浸水深図)

床下浸水が解消されない地区については、別途2次内水対策を検討する

6. 今後の予定

- ① 第4回内水対策検討会までに、朝酌川水系河道計画(素案)の検討、内水排除ポンプ設置箇所
の選定、二次内水対策等について検討し、「松江市街地内水対策(案)」を提案します。
- ② 住民の代表の方にも参加していただき、内水対策(案)も踏まえ、松江市街地の治水対策を様々
な見地から検討するため、「松江市街地治水対策検討委員会」を立ち上げ、「松江市街地治水
対策(案)」を策定します。
- ③ 「松江市街地治水対策(案)」については、河川整備計画等に反映させていきます。



7. 検討会構成員

国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所	
島根県	土木部河川課【事務局】
	土木部斐伊川・神戸川対策課
	土木部下水道推進課
	松江県土整備事務所
松江市	政策部大橋川治水事業推進課
	産業経済部農林課
	建設部下水道工務課
	建設部河川課
学識経験者 (アドバイザー)	広島大学大学院工学研究科 河原能久教授
	京都大学防災研究所 川池健司准教授